

事務事業名 赤ちゃんの駅事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1589

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	--
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	子育て支援課
			担当係	子育て支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成24年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
乳幼児の親子、公共施設を含む市内で事業を行っている施設			乳幼児の親子が、外出時に授乳やオムツ替のできる場所を市内に設置することで、気兼ねなく子育てができる環境を整えるため、授乳等の設備を持つ施設に対して、赤ちゃんの駅のマークを表示してもらう。また、新たにできた施設等に授乳等の設備を設置し登録をしてもらう。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
乳幼児親子が安心して気軽に外出できるように、赤ちゃんの駅を表示し、子育ての支援をする。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
赤ちゃんの駅登録施設数			28	32	27	0			25
5. コスト									
事業費		計	千円	0	8	8			
		国	千円	0	0	0			
		県	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		その他 一般	千円	0	0	0			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	792	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	792	781	790				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<現状>2件の新規登録があった。 <原因>市の公共施設における登録数増を目的とし、二つのコミュニティセンターの状況確認と意向調査を行った。条件が合わずに、登録には至っていない。若い世代が利用する子育てサロン等の支援に積極的な施設に向き、本事業の説明と登録のお願いを行った。 <その他>今後も引き続き、商業施設等に呼びかけを行う。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	設備を設置するためには、費用がかかり簡単に登録には至らない。登録可能な設備が整っている施設から登録勧奨を行う。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	あり						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
R6年度から利用者支援事業に事業を統一し、アウトリーチでの勧奨に注力する。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
市内の公共施設や民間施設を対象に「赤ちゃんの駅」を登録し、広報することにより、安心して外出できるよう子育て家庭を支援するとともに、社会全体で子育てを支援する意識の醸成を図ることを目的としたもので、全国的に広がっている。筑紫野市では、H24年度から実施。									